

## 平成29年度 事業報告

(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

平成29年度は、事業計画に基づき会員各位の協力のもとに学会誌「ダム工学」を発行し、広報活動、学術講演会、研究発表会、講習会、各地区現場見学会、ダムなんでも相談室等を開催し、ダム工学会賞の選定、表彰を行った。また、活性化関連活動として、with Dam★Night2017を東京の外、北海道、東北、中部・近畿、九州の各地で開催するとともに、一般の方がダムに関する情報を容易に得られるようダム工学会ホームページを運用した。

調査研究委員会では、7つの研究部会に加えて、「ダム貯水池課題研究部会」を新設し、研究活動を行った。また、交流研究事業として、3つの研究テーマを実施した。

編集委員会では、若手会員の入会を促進することを目的として、「若手技術者の声」コーナーを新設した。

会員数は、平成29年度末現在、正会員は787名、学生会員は105名、賛助会員は50社となり、平成28年度に比べて、正会員は2名、学生会員は26名の増加となっている。

各事業の実施については、各委員会、研究部会により着実に行われた。また、会員各位の積極的な活動に支えられた。

### 1. 委員会等活動報告

#### (1) 通常総会

平成29年5月18日に通常総会を開催し、平成28年度事業報告及び収支決算、理事選任、監事選任について承認を得るとともに、平成29年度事業計画及び収支予算について報告を行った。

- 第27回 通常総会  
日 時 : 平成29年 5月18日 14:00～  
場 所 : 星陵会館 2Fホール  
出席者 : 414名 (うち委任状による出席者316名)  
議 題 : 平成28年度事業報告及び収支決算、会計監査報告  
理事選任、監事選任  
報 告 : 平成29年度事業計画及び収支予算  
新任役員等の紹介

#### (2) 理事会

以下の通り理事会を3回開催した。

- 第68回 理 事 会  
日 時 : 平成29年 4月25日 13:00～15:00  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議 題 : 第27回通常総会議案について
- 第69回 理 事 会  
日 時 : 平成29年 5月18日 15:00～15:20  
場 所 : 星陵会館 E会議室 (1階)  
議 題 : 会長・副会長の選出について  
顧問の選出について  
ダム工学会表彰委員会委員選出について  
ダム工学会選考委員会委員選出について  
理事の委員会委員委嘱について  
ダム貯水池課題研究部会設置について

- 第70回 理事会  
日時 : 平成30年 3月16日 10:30~12:00  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議題 : 平成30年度事業計画(案)について  
平成30年度収支予算(案)について  
報告 : 平成29年度事業執行状況について  
ダムの科学(改訂版)について  
会員数の推移について  
ダム工学会通常総会までの主な日程と予定

### (3) 評議委員会

以下の通り評議委員会を開催した。

- 第37回 評議委員会  
日時 : 平成29年 4月25日 15:30~17:30  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議題 : 平成29年度 理事推薦(案)について  
平成29年度 監事推薦(案)について  
平成29年度 評議委員(案)について  
第27回通常総会議案について

### (4) 委員会等活動

事業活動を推進するため、企画運営委員会及び各小委員会、編集委員会、調査研究委員会、ダム工学会賞の関係委員会を以下のとおり開催した。

#### 1) 企画運営委員会

- 第82回 企画運営委員会  
日時 : 平成29年 4月14日 15:00~17:00  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議題 : 第27回通常総会議案について
- 第83回 企画運営委員会  
日時 : 平成30年2月13日 15:00~17:00  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議題 : 平成30年度事業計画(案)について  
平成30年度収支予算(案)について  
報告 : 平成29年度事業執行状況について

#### ○ 各小委員会の活動内容

- ① 総務小委員会  
通常総会、理事会、評議委員会及び企画運営委員会の運営に関する企画・立案・実施、会員情報の管理、学会会計(会費の徴収を含む)の報告を行った。
- ② 学術研究発表会小委員会  
特別講演会及び研究発表会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
- ③ 講習会小委員会  
講習会の運営に関する企画・立案・実施を行った。
- ④ 現地見学会小委員会  
現地見学会開催に関する企画・立案・実施を行った。

- ⑤ 広報小委員会  
学会及び学会行事の広報に関する企画・立案・実施を行った。  
また、ホームページの更新、メルマガ配信サービスにより情報提供を行った。
- ⑥ 活性化推進小委員会  
ダム工学会の活性化推進方策の検討や、with Dam★Night 2017、各地区活動・ダムなんでも相談室・若手の会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

## 2) 編集委員会

「ダム工学」発行のため、編集委員会を計4回開催した。

- 第110回 編集委員会  
日時 : 平成29年 4月13日  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議題 : 学術部門の掲載予定について  
一般部門の掲載予定について
- 第111回 編集委員会  
日時 : 平成29年 7月18日  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議題 : 学術部門の掲載予定について  
一般部門の掲載予定について
- 第112回 編集委員会  
日時 : 平成29年 10月11日  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議題 : 学術部門の掲載予定について  
一般部門の掲載予定について
- 第113回 編集委員会  
日時 : 平成30年 1月10日  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議題 : 学術部門の掲載予定について  
一般部門の掲載予定について

## 3) 調査研究委員会

- 第1回 調査研究委員会  
日時 : 平成29年 5月11日 10:00～  
場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
議題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史研究部会)  
交流研究事業の状況報告について  
「ダム貯水池課題研究部会(仮称)」設置の提案について

- 第2回 調査研究委員会  
 日時 : 平成29年12月8日 10:00～  
 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
 議題 : 事業報告内容の確認(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史研究、ダム貯水池課題研究部会)  
 交流研究事業の状況報告について

#### 4) ダム工学会賞の関係委員会等

- 平成29年度 技術開発賞公開審査会  
 日時 : 平成30年2月6日 13:30～15:40  
 場所 : 機械振興会館  
 応募数 : 5件  
 参加者数 : 26名
- 平成29年度 選考委員会  
 日時 : 平成30年2月21日 10:00～11:30  
 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
 議題 : 技術賞の授賞者選考  
 功績賞、技術功績賞、論文賞の各候補者選考
- 平成29年度 表彰委員会  
 日時 : 平成30年3月7日 13:30～15:30  
 場所 : (一財)ダム技術センター AB会議室  
 議題 : 優秀発表賞、技術賞、技術開発賞の授賞者選考経過報告  
 功績賞、技術功績賞、論文賞の授賞者選考

## 2. 行事活動

### (1) 学術講演会

- 第27回 特別講演会  
 日時 : 平成29年5月18日  
 開催場所 : 星陵会館 2Fホール  
 講演 : 株式会社 安藤・間 土木事業本部 顧問 浜口 達男 氏  
 『これからの成熟社会を支えるダム貯水池の課題と提言』  
 参加者数 : 102名

### (2) 研究発表会(講習会と合同開催)

- 平成29年度 ダム工学会研究発表会  
 日時 : 平成29年11月24日 9:40～13:15  
 開催場所 : 星陵会館 2Fホール  
 参加者数 : 約100名  
 発表論文数 : 6編  
 優秀発表賞 : (優秀発表賞選考委員会での選考)  
 『潜行吸引式排砂管による小規模貯水池における排砂実証試験』  
 国立研究開発法人土木研究所  
 水工研究グループ水理チーム 宮川 仁 氏

### (3) 現地見学会

- 第43回 ダム工学会現地見学会  
日 時 : 平成29年10月12日～13日  
実施場所 : 平瀬ダム、弥栄ダム  
参加者数 : 46名

### (4) 講習会（研究発表会と合同開催）

- 平成29年度 ダム工学会講習会  
日 時 : 平成29年11月24日 13:15～17:00  
開催場所 : 星陵会館 2Fホール  
参加者数 : 約100名  
講 演 : 国土交通省 大臣官房技術調査課  
建設システム管理企画室長 常山 修治 氏  
「国土交通省（平成29年度）CIMの取り組みについて」  
  
ダム技術センター 首席研究員 川崎 秀明 氏  
「ダム長期活用に関わるコンクリートの話」  
  
愛知工業大学 教授 中村 吉男 氏  
「東富士演習場治山治水事業（東富士山麓の調整池計画）について」

### (5) 活性化関連活動

- 平成29年度 北海道地区現場見学会  
（北海道土木技術会コンクリート研究委員会との共催）  
開 催 日 : 平成29年10月13日  
見学場所 : 新桂沢ダム本体工事  
桂沢ダム8号橋上部工事  
参加者数 : 92名
- 平成29年度 東北地区現場研修会  
開 催 日 : 平成29年10月25日  
見学場所 : 最上小国川ダム  
鳴子ダム  
参加者数 : 35名
- 平成29年度 中国・四国地区現場見学会&講演会  
開 催 日 : 平成29年11月10日  
見学場所 : 椈川ダム、池田ダム  
香川用水記念公園、宝山湖  
参加者数 : 41名  
講 演 : 香川大学 特命教授 松本 秀應 氏  
「見て、触れて、考えて あなたもダム博士  
ダムへの疑問と工夫について考えます」

- 平成29年度 九州地区現場見学会及び講演会
  - 開催日 : 平成29年10月6日
  - 見学場所 : 小石原川ダム
  - 参加者数 : 36名
  - 講演 : (一財)ダム技術センター 技術第二部長 加藤 宏基 氏  
「ダム総合点検について」
  
  - ダム工学九州地区連絡会 会長 大塚 久哲 氏  
「最近のダム工学の話題」
  
  - 独立行政法人水資源機構  
朝倉総合事業所 所長 日野 浩二 氏  
「小石原川ダムの概要」
  
  - 鹿島・竹中・三井住友特定建設共同企業体  
小石原川ダム本体建設工事事務所 所長 伊阪 大輔 氏  
「小石原川ダムの施工」
  
- ダムなんでも相談室
  - 開催日 : 平成29年8月15日～8月17日
  - 開催場所 : 東京国際フォーラムG棟701
  - 概要 : ダム博士とクイズを通してダムの役割と水の循環を学ぶ対話型の催しと手作り水力発電模型の実演を行った。
  - 来場者数 : 800名
  
- 第4回 ダムを知るための若手技術者勉強会
  - 開催日 : 平成29年8月31日～9月1日
  - 開催場所 : 八ッ場ダム建設現場  
品木ダム水質管理所
  - 概要 : 堤体コンクリートを打設中のダム建設現場及び河川の中和事業を行う管理ダムの施設等の見学を行うとともに、ダムの基礎知識講座を行った。
  - 参加者数 : 42名 (学生29名)
  
- 第8回 語りべの会
  - 開催日 : 平成29年12月1日
  - 開催場所 : 東京工業大学 大岡山キャンパス 緑が丘ホール
  - 参加者数 : 66名 (学生15名)
  - 講演 : 東京大学 社会基盤学専攻 特任准教授 川崎 昭如 氏  
「データ統融合が切り拓く既存ダムの効率的活用支援と  
途上国でのダム建設の意思決定支援」
  
  - 日本水フォーラム 代表理事 事務局長 竹村 公太郎 氏  
「日本文明とエネルギー  
－既存ダム活用による水力発電－」

- with Dam★Night 2017  
 開催日 : 平成29年6月16日 (金)  
 開催場所 : 月島社会教育会館 4階ホール  
 参加者数 : 170名  
 サブテーマ : 「DAM ☆LOVE」

WDN プログラム	
	司会 : 中野 朱美 (日本ダム協会)
18:10	開会挨拶 <span style="float:right">ダム工学会会長</span>
18:15	夜嘶1 「私の愛するダム」 <span style="float:right">ダムマイスター 佳</span>
18:45	夜嘶2 「プロカメラマンが教えるダムの撮り方」 <span style="float:right">写真家 庄嶋 與志秀</span>
19:15	休憩
19:25	夜嘶3 「ダムカード、30分で基本から最新まで」 <span style="float:right">国土交通省 河川環境課 三橋 さゆり</span>
19:55	夜嘶4 「八ッ場ダムの今とインフラ観光『やんばツアーズ』」 <span style="float:right">国土交通省 八ッ場ダム工事事務所 由井 修二</span>
20:25	夜嘶5 「DAM ☆LOVE」で無限大!ダム巡りの楽しみ方 <span style="float:right">ダムマイスター・ダム巡り愛好家 炭素</span>
20:55	緊急企画 ダム天端の片隅で「DAM☆LOVE」を叫ぶ! <span style="float:right">タレント 上杉 周大</span>
21:20	閉会挨拶

- with Dam★Night in 北海道「突然きまま版」  
 開催日 : 平成29年7月31日 (金)  
 開催場所 : TKP 札幌駅カンファレンスセンター  
 参加者数 : 30名  
 内 容 : 全国的に有名なダム愛好家と北海道のダムファンが一堂に会する場を設け、ダムに関する様々な情報交換を行う場として、WDN 北海道「突然きまま版」を開催した。
- with Dam★Night in 多賀城 2017  
 開催日 : 平成29年11月17日 (金)  
 開催場所 : 多賀城市立図書館  
 参加者数 : 50名

WDN プログラム	
	総合司会 若生 哲旺
【開会の挨拶】	ダム工学会 会長 魚本 健人
【講演会】	
夜嘶1 「ダムパシヤ 八ッ場ダムの建設現場を撮った!!」	<span style="float:right">清水建設株式会社 久保田 信弥 氏</span>
夜嘶2 「ダムと河川と市民参画～最上川舟運のまち 水を活かした取り組み～」	<span style="float:right">山形県長井市長 内谷 重治 氏</span>
夜嘶3 「ダム、広がる興味」	<span style="float:right">ダム愛好家 めんたつ 氏</span>
夜嘶4 「白洲次郎を訪ねて」	<span style="float:right">鹿島建設(株)・宮城大学客員教授 加納 実 氏</span>
【閉会の挨拶】	ダム工学会活性化推進小委員会 小委員長 川崎 秀明

○ with Dam★Night in KISOGAWA

開催日 : 平成29年11月14日 (火)

開催場所 : シティホテル美濃加茂 3F 若竹の間

参加者数 : 107名

■With Dam☆Night

17:40 開会挨拶	ダム工学会 会長 魚本 健人 美濃加茂市 市長 藤井 浩人
17:50~	トークショー 1. 17:50-18:10 「木曾川の治水の要 パワーアップ!新丸山ダム」 国土交通省 新丸山ダム工事事務所長 川瀬 宏文 2. 18:10-18:30 「岐阜県のダムの有効活用について～民間発電事業者による発電を中心～」 岐阜県 県土整備部 河川課 清水 壘 3. 18:30-18:50 「ココが好き!木曾川のダム」 ダムマイスター 佳 4. 19:00-19:20 「愛知用水とその水源ダムたち」 独立行政法人水資源機構 中部支社 事業部次長 小澤 広幸 5. 19:20-19:40 「木曾川の水力開発」 関西電力株式会社 丸山笠置発電所改良工事所長 加藤 雅広
19:50~	ダムビンゴゲーム
20:30 閉会挨拶	京都大学 教授 角 哲也

■ダム関連パネル展示

ダム関連パネル展 (場所:アピタ美濃加茂店1階)

展示期間:平成29年11月10日 (金) ~11月12日 (日)

■ダム見学会

丸山ダムスペシャルツアー

平成29年11月14日 (火) 13:00-17:30

見学場所:丸山ダム、新丸山発電所

参加者数:44名

○ with Dam★Night in Kyusyu

開催日 : 平成29年11月11日 (土)

開催場所 : 西日本新聞会館16階メインホールB

参加者数 : 172名

■wDNプログラム

15:00	: 開会挨拶	ダム工学会九州地区連絡会	会長	大塚 久哲
15:03	: 来賓挨拶	ダム工学会	副会長	森 秀人
15:05	: [講演(1)]	あなたの知らないゆるダムマニアの世界		
		土木写真部、土木のミリョク研究会		岡部 章
15:25	: [講演(2)]	ダム建設の工場化最前線!		
		鹿島建設・竹中土木・三井住友 特定建設工事共同企業体		
		大分川ダム建設工事事務所	所長	奈須野 恭伸
16:00	: [講演(3)]	竜門倶楽部の歩み		
				竜門倶楽部 村上 正八
16:20	: [講演(4)]	僕がダムに行く3つの理由		
				ダム愛好家 月野 傑
16:55	: [イベント(1)]	2017九州ダムフォトコンテスト審査発表		
		ダム工学会九州地区連絡会 wDN実行委員会		太田 達雄
17:10	: [イベント(2)]	2017wDN in Kyusyu フィナーレ 「ダムjackpot」		
		ダム工学会九州地区連絡会 wDN実行委員会		片山 善郎
17:55	: 閉会挨拶	ダム工学会九州地区連絡会 wDN 実行委員会	委員長	矢野 真一郎

【総合司会】 FM福岡パーソナリティー kaede

【展示品】ダムフォトコンテスト応募作品 22点



### 3. 研究活動

#### (1) 研究部会

調査研究委員会の研究部会は、コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、計測管理、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会の8部門から構成され、各研究部会において研究活動が行われた。

- ① コンクリートダム研究部会  
「コンクリートダムは何年持つの？」をテーマにして討論を行い、技術コラム形式でまとめていくこととした。

- 第1回 コンクリートダム研究部会  
期 日 : 平成29年 7月18日  
場 所 : (電子会議)
  
- 第2回 コンクリートダム研究部会  
期 日 : 平成29年 9月 6日  
場 所 : (電子会議)
  
- 第3回 コンクリートダム研究部会  
期 日 : 平成29年 10月13日  
場 所 : (電子会議)
  
- 第4回 コンクリートダム研究部会  
期 日 : 平成29年 12月12日  
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

- ② フィルダム研究部会  
ダムのリスクマネジメントに関する研究の一環として、「大規模地震時におけるフィルダムの被災と復旧」について報文の修正、報文の発表方法、ならびに平成30年度の研究テーマについて検討した。

- 第1回 フィルダム研究部会  
日 時 : 平成29年 6月2日  
場 所 : 日本工営(株) 本社 来客会議室
  
- 第2回 フィルダム研究部会  
日 時 : 平成29年 9月5日  
場 所 : 日本工営(株) 本社 来客会議室

③ 地質・基礎研究部会

「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について、既往文献に基づく事例研究とそのとりまとめを行うとともに、新規研究テーマについて検討を行った。

○ 第1回 地質・基礎研究部会  
日 時 : 平成29年5月8日  
場 所 : 安藤ハザマ本社

○ 第2回 地質・基礎研究部会  
日 時 : 平成29年8月4日  
場 所 : 安藤ハザマ本社

○ 第3回 地質・基礎研究部会  
日 時 : 平成29年11月8日  
場 所 : 安藤ハザマ本社

○ 第4回 地質・基礎研究部会  
日 時 : 平成30年2月16日  
場 所 : 八千代エンジニアリング本社

④ 維持管理研究部会

「ダム貯水池の有効利用等に関する事例研究」をテーマに、ダム貯水池の有効利用・活用、地域への情報発信について事例研究を実施し、「ダム工学」の部会報告原稿を投稿した。また、本年度のテーマを「ダム貯水池の堆砂の有効利用等に関する研究」として、堆積土砂の河川還元や他への活用に関して議論するとともに、現地見学を行いダム管理者と意見交換を実施した。

○ 第1回 維持管理研究部会  
日 時 : 平成29年5月23日  
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

○ 第2回 維持管理研究部会  
日 時 : 平成29年8月23日  
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

○ 現地見学会  
日 時 : 平成29年11月21日～22日  
場 所 : 天竜川再編事業および矢作ダム土砂管理  
(天竜川河口部、秋葉ダム、佐久間ダム、矢作ダム)

○ 第3回 維持管理研究部会  
日 時 : 平成30年2月13日  
場 所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

⑤ 施工研究部会

施工研究部会のねらいは、コンクリートダム施工時に堤体に発生するひび割れに着目して具体的な事例収集と対応策について研究し、失敗事例から学ぶ事例集を作成することにある。

施工研究部会のメンバーである6社が施工したダムの中から、ひび割れの発生事例を収集している各社から提出された発生部位ごとのひび割れ事例について、事例集としての記載内容、ひび割れを発生させないための提案について具体的な検討を行った。

- 第1回 施工研究部会  
日 時 : 平成29年4月17日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第2回 施工研究部会  
日 時 : 平成29年6月19日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第3回 施工研究部会  
日 時 : 平成29年9月4日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第4回 施工研究部会  
日 時 : 平成29年10月6日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第5回 施工研究部会  
日 時 : 平成29年11月10日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室
- 第6回 施工研究部会  
日 時 : 平成30年1月12日  
場 所 : (一財)ダム技術センター AB会議室

⑥ 計測管理研究部会

交流研究事業の一環として、黒又川第二ダム（堤高82m、アーチ式コンクリートダム、電源開発株式会社）において、山口大学と計測管理研究部会による現地調査を実施した。引き続き、「コンクリートダムの変位計測に関するGPS導入ガイドライン（仮題）」のとりまとめを進めることとした。

- 第1回 計測管理研究部会  
日 時 : 平成29年10月11日  
場 所 : 電源開発株式会社 黒又川第二ダム
- 第2回 計測管理研究部会  
日 時 : 平成30年2月9日  
場 所 : 国際航業株式会社 会議室

- ⑦ ダム技術史研究部会  
ダム技術史のとりまとめ、ダム技術史上のエポックメイキングなダムの事例収集を行った。

- 第1回 ダム技術史研究部会WG  
日時 : 平成29年5月24日  
場所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第2回 ダム技術史研究部会WG  
日時 : 平成29年6月29日  
場所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第3回 ダム技術史研究部会WG  
日時 : 平成29年8月2日  
場所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第1回 ダム技術史研究部会  
日時 : 平成29年9月21日  
場所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第4回 ダム技術史研究部会WG  
日時 : 平成29年10月23日  
場所 : (一財)ダム技術センター CD会議室

- ⑧ ダム貯水池課題研究部会  
本研究部会は平成29年度から新設されたものであり、今後の活動方針や研究内容などを固める作業を行った。

- 第1回 ダム貯水池課題研究部会  
日時 : 平成29年6月9日  
場所 : (一財)ダム技術センター CD会議室
- 第2回 ダム貯水池課題研究部会  
日時 : 平成30年2月14日  
場所 : 京都大学 桂キャンパス C1棟

## (2) 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「GPS変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」の3テーマについて継続した。

- ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究 (継続)  
研究者 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科  
溝渕 利明教授  
研究フィールド 全国各地域から最近完成した35ダムを選定

- GPS変位計測システムを用いた重力式コンクリートダムの変位計測に関する研究（継続）  
研究者 山口大学大学院理工学研究所 清水 則一教授  
研究フィールド 国土交通省中国地方整備局 尾原ダム等のコンクリートダム
  
- コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊検査に関する研究（継続）  
研究者 首都大学東京 都市環境科学研究科  
大野 健太郎助教  
研究フィールド 国土交通省関東地方整備局 湯西川ダム等

#### 4. その他

オロビルダムの洪水吐き損傷事故と今後の対策について講演会を開催した。

日時 : 平成29年5月8日  
場所 : 京都市 メルパルク京都  
主催 : 京都大学, 日本大ダム会議, ダム工学会, ダム技術センター

#### 5. 出版活動

##### 学会誌「ダム工学」

平成29年度は、4回の会誌発行を行った。また、平成30年3月号から、若手会員の入会を促進することを目的として、「若手技術者の声」コーナーを新設した。

VOL. 27 No.2 平成29年 6月15日発行

VOL. 27 No.3 平成29年 9月15日発行

VOL. 27 No.4 平成29年12月15日発行

VOL. 28 No.1 平成30年 3月15日発行

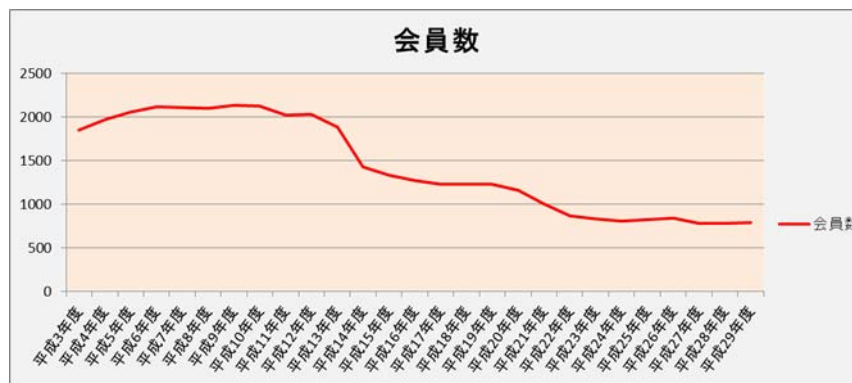
## 6. 会員入会状況

### (1) 会員数等の推移

会員数

※会員数は年度末現在の値

会員種別	平成28年度	平成29年度	備 考
正 会 員	700名	691名	9名減
シニア会員	85名	96名	11名増
学生会員	79名	105名	26名増
合 計	864名	892名	28名増
賛助会員	52社	50社	



### (2) 会員獲得等の主な取り組み

- ・若手の会で「第4回ダムを知るための若手技術者勉強会」「語りべの会」を開催し、参加した学生に入会を呼びかけた。
- ・学生会員を対象として通常総会案内時を通じて正会員への移行を呼びかけた。

# 平成29年度 収支決算報告

(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

議案 2

(単位：円)

## 収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	11,480,000	10,398,616	1,081,384	
①正会員会費	4,380,000	3,668,616	711,384	615口 (手数料¥21,384差引)
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	100,000	280,000	△ 180,000	3万(4口)+4万(4口)
④賛助会員会費	7,000,000	6,450,000	550,000	129口
2. 事業収入 (①～⑦計)	2,625,000	2,548,740	76,260	
①総務小委員会収入	370,000	336,000	34,000	第27回通常総会懇親会費参加者数の減
②研究発表会収入	200,000	243,000	△ 43,000	平成29年度 研究発表会講習会参加費
③現地見学会収入	1,215,000	1,221,000	△ 6,000	現地見学会参加費
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	30,000	24,000	6,000	公開審査会参加費
⑥活性化推進収入	810,000	722,820	87,180	
若手の会	150,000	182,000	△ 32,000	ダムを知るための若手技術者勉強会参加費 語り部の会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	
北海道ブロック	20,000	72,000	△ 52,000	WDN北海道参加費 現地見学会参加費
東北ブロック	320,000	18,000	302,000	現地見学会参加費
中部近畿ブロック	150,000	282,500	△ 132,500	with Dam Night in Kisogawa参加費
中国四国ブロック	0	4,320	△ 4,320	現地見学会参加費
九州ブロック	170,000	164,000	6,000	with Dam Night in Kyusyu懇親会参加費
With Dam Night 2017	0	0	0	
ダム技術史講演会	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	1,920	△ 1,920	
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
計測管理研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	1,920	△ 1,920	口座開設等立替金
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究連絡会議	0	0	0	
3. 刊行収入 (①～④計)	1,715,000	1,731,177	△ 16,177	
①会誌一般頒布収入	360,000	280,000	80,000	
②会誌広告料	1,250,000	1,140,000	110,000	
③抜刷別刷収入	75,000	274,880	△ 199,880	
④その他収入	30,000	36,297	△ 6,297	JST和文抄録利用料
4. 図書出版事業収入	30,000	42,994	△ 12,994	フィルダムの変位計測に関するGPS 利用マニュアル、ダムの科学
5. 雑収入 (①～②計)	1,601,000	1,650,034	△ 49,034	
①補助金収入	1,600,000	1,650,000	△ 50,000	河川整備基金助成事業(¥800,000) 九州地方計画協会 (¥800,000) 大ダム会議 (¥50,000)
②受取利息	1,000	34	966	
小計 (1～5計)	17,451,000	16,371,561	1,079,439	
6. 前年度繰越金	13,942,748	13,942,748	0	
合計 (小計+6)	31,393,748	30,314,309	1,079,439	

(単位：円)

## 支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	11,099,000	9,293,547	2,180,345	
①研究発表会支出	800,000	869,811	△ 69,811	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,270,000	1,119,718	150,282	現地見学会小委員会 (大ダム会議と共同開催)
③講習会支出	250,000	139,776	110,224	講習会小委員会
④表彰関係支出	1,389,000	921,552	467,448	表彰・選考委員会 公開審査会 経費
⑤広報支出	90,000	88,344	1,656	広報小委員会
⑥活性化推進支出	6,160,000	5,878,064	281,936	活性化推進小委員会
若手の会	1,500,000	1,580,112	△ 80,112	若手技術者勉強会 語り部の会 経費
ダムなんでも相談室	1,200,000	943,718	256,282	ダムなんでも相談室 経費
北海道ブロック	440,000	673,038	△ 233,038	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
東北ブロック	390,000	406,699	△ 16,699	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
中部近畿ブロック	640,000	652,914	△ 12,914	with Dam Night 経費
中国四国ブロック	290,000	206,060	83,940	ダム見学会(支部) 経費
九州ブロック	1,300,000	1,188,433	111,567	with Dam Night・ ダム見学会(支部) 経費
with Dam Night 2017	200,000	227,090	△ 27,090	with Dam Night 経費
ダム技術史講演会	200,000	0	200,000	未実施
⑦調査研究支出	1,140,000	276,282	863,718	
コンクリートダム研究部会	40,000	864	39,136	部会 経費
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	80,000	756	79,244	現地調査の未実施
維持管理研究部会	70,000	46,014	23,986	現地調査 経費
施工研究部会	50,000	0	50,000	
計測管理研究部会	0	864	△ 864	残高証明発行手数料
ダム技術史研究部会	300,000	2,676	297,324	口座開設等経費
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究連絡会議	600,000	225,108	374,892	交流研究補助金3テーマ分
2. 刊行支出	4,500,000	4,437,276	62,724	
①会誌作成費	4,500,000	4,437,276	62,724	送料・抜刷印刷含む (年4回)
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑪計)	2,170,000	2,014,004	155,996	
①会場費	400,000	406,640	△ 6,640	第27回総会 経費等
②会議費	680,000	619,431	60,569	第27回総会 経費等
③印刷製本費	300,000	186,788	113,212	第27回総会 経費等・ パンフレット作成費
④諸謝金	200,000	175,000	25,000	ダム工学 巻頭言・査読料
⑤消耗品費	90,000	0	90,000	
⑥通信費	80,000	193,954	△ 113,954	会費請求書 送付等
⑦支払手数料	50,000	72,130	△ 22,130	WEBバンク・口座振替手数料
⑧旅費交通費	50,000	0	50,000	
⑨コンサルタント料	150,000	202,480	△ 52,480	会計顧問報酬・登記簿本手続き代行 手数料
⑩雑費	150,000	113,679	36,321	ダム日本購読料, 日本工学会会費 防災学術連携体会費等
⑪源泉徴収費	20,000	43,902	△ 23,902	ダム工学会からの諸謝金に対する源泉 徴収税
5. 予備費支出	100,000	0	100,000	
小計 (1～5計)	17,869,000	15,744,827	2,124,173	
6. 繰越金	13,524,748	14,569,482	△ 1,044,734	
合計 (小計+6)	31,393,748	30,314,309	1,079,439	